

無料

今川義元公の木像(臨濟寺)。5月19日の特別公開で拝観することができ



「今川義元公」はどこがすごかった？

教えてくれたのは
「今川さん製作委員会」
鈴木将仁さん

駿河今川10代の中でも、最も隆盛を極めたのが9代の義元公です。東海道で最も強い武将「海道一の弓取り」と呼ばれ、織田・武田・北条と対等に渡り合いながら、势力的に領地を広げ、駿河・遠江・三河の3カ国を支配下に治めていました。戦の時に興に乗って出陣したことから「馬に乗れなかった」「女々しい」などと言われることもあります。これは間違い、足利将軍家の血筋であった今川家は、興の使用が許されたほど位が高かったという証しです。

今川氏の繁栄はどうしてついでたの？

教えてくれたのは
「静岡市歴史文化課」
水野伍貴さん

桶狭間の戦いで、義元公が敗れたことが大きいでしょう。義元公の戦死により、三河では松平元康(のちの徳川家康)が離反し、今川氏は三河の支配権を失います。さらに、遠州でも傘下の領主が離反。義元公が絶対的君主だっただけに、それを失った反動も大きいものでした。政治・軍事両面で今川家を支えてきた太原雪斎(たいげんせっさい)が、桶狭間の戦いの5年前に亡くなり、今川氏の勢いを盛り返せる人材が残っていなかった影響も見逃せません。

今川義元公、 人気上昇中

2019年に生誕500周年!

現在放送中の大河ドラマに登場していたことから、がぜん注目を集めている「駿河今川氏」。歴史の中で最も活躍した「今川義元」の生誕500年を2年後に控え、再び「今川」に光を当てようという「今川応援団」が官民で誕生しています。5月19日のご命日を前に、私たちも今川義元公をもっと知ってみませんか？(小林かおり記者)

そもそも「今川氏」はどんな一族なの？

教えてくれたのは
「今川義元検証委員会」
友井敏昭さん

静岡の街の基礎は徳川家康公が築いたとお考えの人も多いかもしれませんが、その前の戦国時代、230年にわたり駿河を統治した「駿河今川10代」の存在を忘れてはいけません。今川氏は源氏の流れをくみ、元をたどれば足利氏から発した名門家系です。中でも7代氏親公は独自の統治ルールである「分国法」を確立。幕府から派遣された守護大名から、領国を支配する権力者として戦国大名へと進出し、駿府の繁栄を導きました。

今川統治下、駿河国の繁栄と文化って？

教えてくれたのは
「駿府ウエイブ」
大場江理登さん

高貴な血筋の今川氏のもとには、北川殿(6代義忠公正室)や寿桂尼(7代氏親正室)など京都から奥方が嫁いだほか、多くの公家や文化人が身を寄せました。そのため連歌や茶の湯、能、香道などの京風公家文化が駿府に花開き、周防の大内氏、越前の朝倉氏と並ぶ、「戦国三大文化」に数えられています。また義元公は、武田信玄、北条氏康との三国同盟など和平協定を結び、安定した領土運営を行っていました。



今川氏の菩提寺・臨濟寺に現れたご当地キャラ「今川さん」。今川義元公がモデル

5月19日(金)は今川義元公のご命日 こんな催しが見逃せない!

「臨濟寺 特別公開」

時間/午前10時の法要~午後3時

修行寺であるため通常は非公開である今川氏の菩提寺・臨濟寺は、5月19日のご命日に特別公開されます。重要文化財の本堂に並ぶ今川義元・氏輝公の座像、義元公が書かれた文書、義元公がまつられている「今川神廟」などをはじめ、貴重な文化財や庭園など、見どころが多くあります。

■問い合わせ/臨濟寺 ☎054(245)2740

シンポジウム「義元公の5月19日」

場所/静岡市南部生涯学習センター
時間/午後2時30分~7時(プレ午後1時~)

南部生涯学習センターと静岡市歴史文化課のコラボ(プレ・第1部)企画。プレ「今川氏ゆかりの城跡(八幡山城跡)を歩く」に続き、第1部は地元歴史研究家が桶狭間の戦いを語る「義元公の5月19日」、第2部はご当地キャラ「今川さん」が場を盛り上げる(プレ、第1・2部いずれかの参加も可)。募集人数は50人(申し込み順)、無料。■申し込み/5月6日(土)、午前10時~、南部生涯学習センター ☎054(281)2184

「あるある探検隊!今川氏編」

場所/坤櫓~臨濟寺のウォーキング
時間/午前9時20分~正午 ※小雨決行

ボランティアガイド「駿府ウエイブ」の解説で、駿府城公園の坤櫓(ひつじさるやぐら)を出発点に、今川義元公ゆかりの臨濟寺(特別公開)や静岡浅間神社を巡ります。募集人数は50人(多数の場合は抽選)、参加費500円(駿府城公園内3施設共通利用券付き)。申し込みは5月10日(水)まで、往復ハガキか、メールで受け付け。

■問い合わせ/坤櫓 ☎054(266)7205
<http://sumpu-castlepark.com/>

博物館でも今川関連の 企画が目白押し！

藤枝市郷土博物館・文学館

【特別展「駿河の戦国大名今川氏展」】

・会期／6月2日(金)～7月17日(月・祝)

※月曜休館

- ・特別展入館料／大人400円(予定)、中学生以下無料
- ・展示内容／県内を中心に残る今川氏ゆかりの資料や古文書を展示。とくに志太地域や藤枝と密接にかかわる部分にスポットをあてる
- ・関連行事／オープニングイベント(6月3日)、歴史演劇(6月11日、見学無料)、記念講演会(2回開催、要受講料)、歴史講座(全4回シリーズ、要受講料)

■問い合わせ／藤枝市郷土博物館・文学館

☎054(645)1100

<http://www.city.fujieda.shizuoka.jp/kyodomuse/index.html>

島田市立博物館

【戦国大名今川氏を学ぶ講座と特別展】

●講座／各全10回開講

- ①「古文書講座」島田市指定文化財の今川氏ゆかりの古文書を読み解く
 - ②「歴史講座」今川氏の歴史をテーマに学ぶ
- ・日時／両講座とも毎月第2日曜(5月～来年3月、8月除く)、古文書講座：午後2～3時、歴史講座：午後3時30分～4時30分
- ・参加／定員50人(各講座とも1回につき資料代100円)

●特別展「女戦国大名寿桂尼と今川氏」

・会期／9月開催予定

■講座申し込み・問い合わせ／島田市博物館

☎0547(37)1000

<http://shimahaku.jp/>

丁寧な説明で、地元(の歴史に)光をあてる「駿府ウェイブ」



今川の歴史を語り継ぐ 「駿府ウェイブ」

今年度は、「大政奉還、明治維新 150 年」をテーマに活動しているボランティアガイド「駿府ウェイブ」ですが、「来年度は、今川義元公生誕 500 年を見据え、駿府今川氏にもスポットを当てる予定です」と企画部長の大場江理登さん。5月19日のウォーキングイベント(1面参照)でもガイドのまとめ役をつとめ、「臨濟寺の奥深い歴史や魅力を、ぜひ伝えたいですね。」

■駿府ウェイブ／☎054(204)6655



駿府城天守台の堀が見つかった発掘調査現場。今川氏時代の調査は約2年後、天守台の調査の後に予定。今川館の場所がわかるかも？

2019年に生誕500周年！

◎1面から続く

今川義元公、人気上昇中

今川応援団の皆さんは、こんな人たちです！



子どもからの人気を生かして、大人にもアピールする「今川さん」

今川義元公の汚名返上 「今川さん製作委員会」

「今川義元公は立派な武将だったのに、世間から「公家かぶれ」などと誤解されています。その汚名を返上したい」と2年前に立ち上がったのが、イラストレーターなど義元ファンのクリエイターで組織する「今川さん製作委員会」。ご当地キャラ「今川さん」を製作し、公式サイトで4コママンガを発表するなど、得意分野を生かし大活躍。県外のイベントから招待されるほどの人気です。「今後は他の今川研究団体などとも連携し、活動の幅を広げたいですね」と代表の鈴木将仁さん。

■今川さん製作委員会／☎054(266)7117

今川氏顕彰事業に向け準備 「静岡市歴史文化課」

静岡市に建設が予定される「(仮称)歴史文化施設」は、徳川家康と並び、今川氏が大きなテーマです。「静岡市にとって、今川氏の歴史は重要なもの。今年度から、今川氏の顕彰に着手する予定です」と話すのは、「歴史文化課」の水野伍貴さんです。「歴史文化課」では、4年間に渡る駿府城の発掘調査も進行中。天守台の調査などに続き、平成31年度には、今川氏時代の遺構の発掘調査が行われる予定です。

■静岡市歴史文化課／☎054(221)1569

地域愛を育む市民活動 「今川義元検証委員会」

静岡市の安東地区は、臨濟寺や静岡浅間神社など数々の史跡を有するエリア。「自治会運営のテーマの1つを「地域の歴史・文化の検証」とし、昨年、『今川義元検証委員会』を発足させました」と、連合町内会長の友井敏昭さん。昨年末に、自治会の各団体約80人で勉強会を開いたのに続き、この4・5月には、義元公ゆかりの富春院での勉強会、義元公の冢塚をまつる大聖寺(豊川市)への訪問も予定です。「改めて義元公への尊敬の念を新たにしています」。